

平成 30 年度 第 2 回安曇野市健康づくり推進協議会 会議概要

- 1 会議名.....安曇野市健康づくり推進協議会
- 2 日.....時.....平成 30 年 10 月 24 日 (水).....午後 1 時 30 分から午後 2 時 30 分まで
- 3 会.....場.....穂高健康支援センター 問診計測室
- 4 出席者.....武井委員、伊藤委員、佐野委員、市川委員、松浦委員、清沢委員、青柳委員、  
小山委員、小松委員、堀内 (郁) 委員
- 5 担当課出席者.....高橋部長、古畑課長、中澤センター長、丸山課長補佐、久保田課長補佐、  
渡邊係長、上条係長
- 6 公開・非公開の別.....公開
- 7 傍聴人.....0 人.....記者.....1 人
- 8 会議概要作成年月日.....平成 30 年 10 月 30 日

協 議 事 項 等

【協議事項】

- 1 安曇野市自殺対策計画案について
- 2 その他  
(1) 安曇野市こころの健康を考えるつどい開催について

【会議概要】

- 1 安曇野市自殺対策計画案について  
資料に基づき説明

【主な意見】

(会 長) P39 の「PDCA サイクル」とはどういうものですか。

(事務局) 計画をたてましたら (Plan)、実行し (Do)、それをチェックして (Check)、次の行動 (Action) に繋げるとすることで、頭文字をとって PDCA サイクルと言います。

計画を立てっぱなしという事ではなく、毎年、進捗状況を評価・検証し、さらに計画をブラッシュアップして修正を行っていくということです。

わかりやすくするよう注釈をつけます。

(委 員) 質問が一つと、意見が二つあります。

まず質問ですが、P10 の 9 で「自損行為」とは「自殺企図」と考えてよろしいですか。  
例えばリストカットというような。

(事務局) そうです。自分で自分を傷つける行為です。

(委 員) 次に意見ですが、非常に骨太で多方面から考えられていますが、ただ一点、今の社会はネット社会ですね。良い意味でも悪い意味でもネットを介して人とつながっています。例えば自殺サイトなどというものが存在していて、そこに人が集まって車の中で睡眠薬を飲んで練炭を焚いて自殺をするという事件が何件か発生しています。そういうことを考えると、私は悪い意味でネットの害を重点的に見たほうがよいと思っています。

今、世の中みんなネットで繋がっていて、例えば、面白くないからと軽い気持ちで自殺サイトを覗いたら、本当はたいして死にたいとは思っていなかった人が練炭自殺などにずるずると引っ張り込まれていってしまっている可能性があるのではないか。そう

いう点も対策に盛り込んでいただきたい。

もう一つは、P6の1安曇野市の自殺者の推移で、年間20人前後の人が自殺で亡くなっていますが、個別的な状況というのは個人情報・プライバシーの面もあって難しいとは思いますが、一つひとつのケースについて個別に検証はされていますか。

(事務局) 個人情報の問題がありまして行っていません。市民の事といえども今回のデータは国からもらっています。

(委員) どういう形で自殺に追い込まれたのか、全部でなくともいいので、可能な範囲で何らかの形で個々のケースの検討は必要かなと思います。もしかしたら、ネットで誘い込まれてその気がなかったのに自殺してしまったという事もあったかもしれないので。そういうことが対策に繋がっていくと思います。個人情報の関係で難しいかとは思いますが。

(委員) 「ゲートキーパー」という言葉は初めて聞きましたが、内容を見るともう始まっているんですね。

(事務局) だいぶ前から言われている言葉です。

(委員) そうすると、2022年には研修受講者数が800人位とありますが、それだけの人を市から委嘱する、お願いする、というかたちをとるのですか。

(事務局) そういうかたちはとらずに、専門性の有無を問わず、悩んでいる人たちの声を聴いて話しかけて相談先について教えてあげる、そういう姿勢の人たちを増やしていくという事です。市の職員であったり市民であったり、委嘱をした特別な人達という事ではありません。

(委員) そうすると、認知症のサポーターの講習会という感じになるのですかね。

(事務局) 似てると思います。

(委員) 保健所ですが、P36の生活困窮者支援の関係で、計画を立てる手引きにもありますが、生活困窮者を把握する担当部署として、税金・水道料金・公営住宅入居料の滞納をしている人達、ハイリスク者ですが、そういう人たちを担当する部署と連携をとったほうがよいという意見があります。P41の庁内会議の構成ですが、そういう部署も入れたほうがよいのではないかと思います。

(事務局) まだ案の段階ですので、検討させていただき柔軟に対応したいと思います。

(委員) 先ほどネットの関係の話もありましたが、県では、SNSを使った子供たちへの相談という事も行っております。まだ検証が必要ですが、そういったネットの利用も考えていただければいいかなと思います。

(会長) 地域産業保健センターですが、安曇野・大北地区は県下で一番働いているセンターですが、中小企業が多いという事で自殺者が多いです。うまく活用できていないという判断になると思いますが、市と相談・連携するという事はありますか。

(事務局) 今年初めて話をしました。資料は以前から頂いていましたが。商工労政課の担当者からも、センターについてはあまり周知されていないという事なので、市へ50人未満の会社から相談があったときには、これから周知をしていかなければいけないと考えています。

(会長) 今出た意見をうまくまとめて計画に反映させていただきたいと思います。

## 2 その他

### (1) 安曇野市こころの健康を考えるつどい開催について

12月1日(土)13時30分から市役所4階大会議室で開催するので委員の皆さまにも出席

いただきたい。(事務局)